

高効率で沸かすから
年間のランニングコストも
経済的！

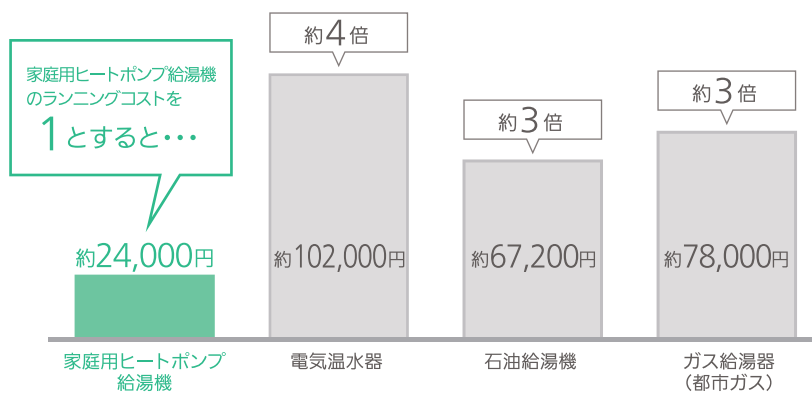
東京電力エナジーパートナーエリア



給湯にかかるランニングコストは、月平均約2,000円(税込)^{※1※2} (HE-JPU37KQSにおいて)

※1:湯の使用量とリモコンの沸き上げモード設定により異なります。また年間電気代の月平均であり、季節・地域により変わります。ご使用時間により昼間にお湯を沸かしますので電気料金が異なります。

年間のランニングコストを比較しても割安感がはっきり。^{※2}



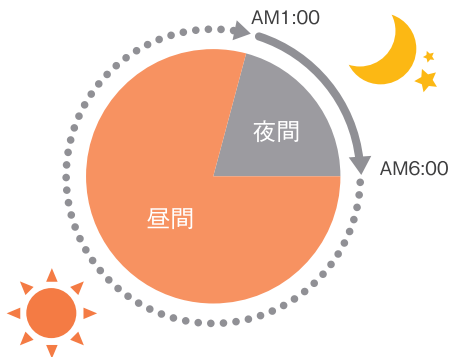
※2
ランニングコストの算定基準(当社調べ)
下記条件にてランニングコストのめやすを試算しています。

- 家庭用ヒートポンプ給湯機: HE-JPU37KQS
- 電気温水器: DH-37G5QU
- 運転モード: 「おまかせ節約」
- 外気温、給水温度: 東京地区
- 給湯負荷: 日本産業規格 JIS C 9220の年間給湯保温モード熱量
- 電気料金: 東京電力エナジーパートナー「スマートライフL」燃料調整額除く(基本料金含まず)
※2022年4月 当社調べ
- ガス料金: 東京ガス 料金単価: 154.6円/m³(税込)で算出(基本料金含まず)
※2022年4月 当社調べ
- 石油料金: 料金単価: 118.56円/L(税込)
※2022年3月 当社調べ

※機器等の購入費用や設置・施工費用は含みません。

電気料金プラン 電気料金プランについての詳細は、当該電力会社にご相談ください。

スマートライフL



昼間時間: 毎日午前6時から翌日の午前1時まで
夜間時間: 毎日午前1時から午前6時まで

※総容量が1kVA以上の夜間蓄熱式機器またはオフピーク蓄熱式電気温水器をご使用のお客さまにご利用いただけます。